県内景気動向調査(2022 年 4-6 月実績、7-9 月見通し) - 県内景気は緩やかに回復している -

株式会社海邦総研(代表取締役社長:新垣学)はこのたび、県内景気動向調査を実施しました。 その結果をご報告いたします。

【全体概要】

■ 現状判断

今期(2022年4-6月)の県内企業の景況判断 BSI は9.9で「上昇」超。行動制限措置がない中で、県民需要が大きく回復したことや、観光客数が回復し、広く産業を下支えしたことから「県内景気は緩やかに回復している」。

来期(7-9月)の景況見通し BSI は 24.0 で「上昇」超。県民需要、県外需要の更なる回復を見通す企業が多くなっている。ただし、各種資源の高騰が経済回復の重しとなっているだけでなく、コロナ感染者数が依然として多数発生しているなど、下振れリスクも多くなっている。

【業種別概要】

- 観光関連 [景気は大きく上向き。単価改善が課題]
 - 「行動制限無し」で繁忙期を迎えることができ、4-6 月期の BSI は 58.1 で大きく「上昇」超。7-9 月期も 54.8 で引き続き大きく「上昇」超。稼働率の回復に合わせ、単価の回復が今後の課題となっている。
- 建設・不動産関連 [建設は「下降」超、非居住用の案件少なく]
 - 4-6 月期の BSI は、建設業が-18.1、不動産業等が 17.1 と、両業種で明暗が分かれた。持ち家やマンションの着工は前年比で増えているものの、非居住用は金融業、保険業用途の建築物を除き軒並み落ち込んだ。民間の見積もり依頼などの動向から、建設業は 7-9 月期を 5.6 の「上昇」超と見込んでいる。
- 卸売・小売、飲食サービス〔「行動制限無し」で全体として「上昇」超〕
 - 4-6 月期 BSI は卸売・小売業が 4.0、飲食サービス業が 40.0 で共に「上昇」超。「行動制限無し」により、全体として需要が回復した。各種資源高騰などのマイナス材料はあるものの、県民需要、県外需要の伸長が見られ、7-9 月の見通しも、更なる回復を見通す企業が多くなっている。

【雇用】

- 従業員数〔従業員数は人手不足感が強まる〕
 - 4-6 月期の従業員 BSI は34.3で大きく「不足気味」超となっている。特に医療福祉、 情報通信業、建設業等が大きく「不足」超となっている。
- パート・アルバイト[臨時・パートは減少]
 - 4-6 月期の臨時・パートの BSI は-0.2 で若干「減少」超。旅行・宿泊業、建設業などで 「減少」超となっている。

《本調査の問い合わせ先》

株式会社 海邦総研(担当:地域経済調査部 瀬川、当銘) 〒900-0015 那覇市久茂地 2-9-12-4F TEL:098-869-8724



I 県内企業の景況判断 BSI

■ 現状と見通し

- 実績(2022年4-6月期)
 - 全体の景況判断 BSI(実績)は、9.9 で「上昇」超
- 見通し(2022年7-9月期)
 - 全体の景況判断 BSI (見通し) は、24.0 で「上昇」超

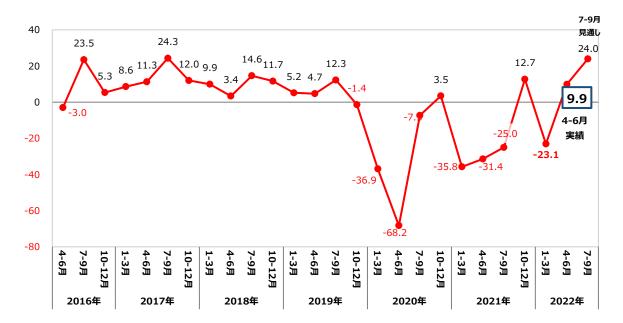
■ 主要業種別結果

- 実績(2022年4-6月期)
 - 「上昇」起は、旅行・宿泊業(58.1)、飲食サービス業(40.0)、その他のサービス業(20.0)、不動産業等(17.1)、製造業(5.3)、卸売・小売業(4.0)となっている。
 - 「下降」超は、建設業(-18.1)、医療・福祉(-14.3)となっている。
- 見通し(2022年7-9月期)
 - 全て「上昇」起となっており、旅行・宿泊業(54.8)、卸売・小売業(40.0)、飲食サービス業(33.3)、不動産業等(25.7)、情報通信業(23.8)、その他のサービス業(22.1)、医療・福祉(14.3)、建設業(5.6)、製造業(2.6)となっている。

■企業の景況判断BSI(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

	時期 2021年		2022年					
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
全業	種BSI	-31.4	-25.0	12.7	-23.1	4.7	9.9	24.0
	建設業	-47.7	-28.8	-9.6	13.1	-21.3	-18.1	5.6
	製造業	-12.2	-22.7	11.8	-36.6	7.3	5.3	2.6
	情報通信業	-5.6	-15.8	4.8	0.0	-16.7	0.0	23.8
	卸売・小売業	-28.1	-37.0	11.7	-22.4	7.5	4.0	40.0
	不動産業等	-11.6	-6.7	-15.6	6.1	24.2	17.1	25.7
	旅行·宿泊業	-44.2	-25.0	44.1	-41.7	22.9	58.1	54.8
	飲食サービス業	-88.9	-41.2	57.9	-71.4	21.4	40.0	33.3
	医療•福祉	-18.8	-4.8	-4.3	-43.8	25.0	-14.3	14.3
	その他のサービス業	-26.8	-18.8	26.1	-36.0	-1.2	20.0	22.1
資	1000万円未満	-34.7	-26.5	19.2	-26.6	11.0	19.4	30.6
本	1000~5000万円未満	-33.6	-26.7	5.2	-17.5	-2.2	4.7	15.7
金	5000万~1億円未満	-28.6	-18.0	32.0	-33.3	12.5	6.3	39.6
別	1億円以上	-10.3	-26.7	16.7	-25.0	21.4	17.1	28.6
従	10人未満	-35.1	-23.7	-1.0	-16.0	10.0	14.3	24.1
業	10~19人	-25.9	-28.9	4.7	-26.1	-1.4	0.0	22.7
員	20~49人	-43.8	-22.4	15.7	-25.5	-2.0	4.7	11.3
数	50~99人	-28.3	-33.3	16.1	-26.9	9.6	20.4	49.0
別	100人以上	-16.4	-15.8	32.7	-29.1	7.3	20.3	31.3
	本島北部地区	-42.9	-28.2	0.0	-37.2	16.3	-2.6	26.3
地	本島中部地区	-21.5	-25.2	12.3	-20.4	4.9	5.4	19.2
域	本島南部地区	-24.2	-19.0	21.3	-16.4	-13.1	0.0	25.0
別	那覇地区	-41.7	-26.9	17.9	-19.4	2.8	19.0	19.0
	離島地区	-35.4	-25.6	0.0	-43.3	30.0	38.7	61.3

■ BSI 推移



2 各業界別総評

県内の業界別等の概要は以下の通りである。

観光関連 [景気は大きく上向き。単価改善が課題]

観光関連の今期(4-6 月)の景況判断 BSI は 58.1 で、大きく「上昇」超となった。大幅な BSI の上昇は、春休み、ゴールデンウィークなどの繁忙期を「行動制限無し」で迎えることができたことが 大きい。5 月の入域観光客数は 39 万 6800 人と、前年の 2 倍に増加。特に GW は日並びが良く、 多くの観光客が来県し観光現場は活況を呈している。家族連れを中心とした個人客のほか、企業の インセンティブ旅行などの団体旅行も増え始めているようだ。緊急事態等が繰り返されていた今年 初めまでとは違い、市場においても観光サービス提供者においても明らかなマインド回復が見られる。

一方、GW に観光客が押し寄せる中で、かねてより懸念されていたレンタカーや人手不足の問題が改めて露呈している。北部のホテルでは、レンタカー無しでも宿泊してもらえるよう、シャトルバスを運行し活用を勧めるなどの取り組みが行われた。ただし、レンタカー不足を理由とする旅行自体のキャンセルは一定数あったようで、旅行会社からは、「こんなにキャンセルが出るとは思わなかった」との声が聞かれている。また、客の多さに人手が追い付かず「フロントでかなり待たせてしまった」という声が複数のホテルから聞かれた。ただし、夏休みに向けた人手確保については慎重で、これまでの経験則から、コロナ禍が治まらない中で「繁忙期の水準に合わせた人員体制」を採ることについてリスク視があるようだ。

全体として良い方向に進んでいる中、喫緊の課題は単価の回復だ。特にホテルにおいては、各種資源や食材が高騰しているのにも関わらず値上げは進んでおらず、単価は未だコロナ前の5~7割に留まっているようだ。このため、稼働率がいくら回復しても売上・利益はかなり圧迫されているという。こうした状況打開に向け、各社は値上げのタイミングを探るものの、市場が値上げについてきてくれるかという不安も大きく、値上げの動きも慎重だ。

来期 (7-9 月) の見通し BSI は 54.8 で、景気の方向性は引き続き大きく上向いている。制限無しでの夏休み、GoTo 再開、外国客受け入れ再開への期待などが大きな要因だろう。予約状況も、特にお盆連休の集客は確実視されている。お盆以外についてはまだ動きが鈍いとの声も聞かれたが、昨今は、観光客がぎりぎりまで感染者の動向を確認した上で予約する「予約の間際化」が進んでおり、直前まで上積みの機会があるようだ。ただし、これまで同様、感染者が増えれば予約が鈍ることが想定され、不透明感は大きいと言える。

建設・不動産関連 [建設は「下降」超、非居住用の案件少なく]

4-6 月期の景況判断 BSI は、建設業が-18.1、不動産業等が 17.1 と、両業種で明暗が分かれる結果となった。建設においては持ち家やマンションの着工は前年比で増えているものの、非居住用は金融業、保険業用途の建築物を除き、軒並み落ち込んだ。公共に関しては、県内全体でボリュームが目減りしているとの声が聞かれ、米軍基地関連や離島の自衛隊基地関連で安定した量の発注が続く防衛省事業への参入を伺う業者が増えている。資材高騰に伴う民間投資の案件減少が影響してか、売上確保のために利益度外視の金額で工事を受注するケースも見られた。

建設業に関し、2022 年 3-5 月の県内の統計を見ると、建築着工全体の工事予定費額は前年比で 13%減、前々年比で 9%減と減少している。そのうち居住用は前年比で 15%増、前々年比で

4%減となっている。非居住用は前年比で 28%減、前々年比で 12%減となっている。居住用は回復 の途上、非居住用は減少が続いている状況だ。

中堅・上位企業へのヒアリングでは「4 月以降に民間工事の受注が相次ぎ、ようやく市場が動き出してきた感がある」など明るい声が聞かれた。一方で下請や孫請を担う中小・小規模事業者は案件減少の中で資金繰りを優先して、元請事業者に対し、従前より安価な見積もりを提示するケースも見られているようだ。

資材高騰と工期の長期化のトレンドは変わらず、資材価格の見積書の有効期限が短くなったり、 I 年半後の工事終盤に必要な仕上げ材の納品遅れが着工時から予告される事態が生じたりと、利益確保や工期の面では厳しい状況が続いている。

不動産業等に関し、ヒアリングでは「各種経済指標と連動した取引ではなく、『今後回復に向かいそうだ』というマインドに引っ張られている感が強い」との声があった。とりわけ県外から沖縄への投資意欲が回復してきていることがうかがえる。

民間工事の見積もり打診などの動向から、来期(7-9 月)の見通し BSI は建設業 5.6、不動産業 25.7 で、共に上昇超を見込んでいる。

卸売・小売、飲食サービス [重点措置解除で全体として「上昇」超]

今期(4-6月)の卸売・小売業の景況判断 BSI は 4.0、飲食サービス業の BSI は 40.0 で共に「上昇」超となっている。前期の大半(1月9日~2月20日)において、重点措置が取られていたのと比較し、今期は制限措置もなかったことから、全体として回復した。

卸売・小売業においては、観光客が回復するなどで特に県外需要の上昇が景況に大きく影響を与えたようだ。一方で、仕入れ値の上昇に伴い販売価格も大きく上昇していることから、県民の普段使いの需要は今一つ伸び悩んでいる。

BSI が大きく「上昇」超となった飲食サービスは、県民需要、県外需要共に大きく伸長した。食材等の高騰が著しいものの、それ以上に、制限措置が無いことにより、外食をしても咎められない気運が醸成され、県民においても外食需要が大きく回復していることが大きく影響しているようだ。

今後の見通しは、卸売・小売業は 40.0、飲食サービス業は 33.3 で共に大きく「上昇」超となっている。各種資源の高騰や販売価格の値上げはマイナス材料だが、コロナ禍から脱却の中で、県民需要、県外需要のさらなる回復を見通す企業が多くなっている。

雇用 [従業員数は人手不足感が強まる、臨時・パートは減少]

【従業員】

4-6 月期の従業員 BSI は34.3で「不足」超となっている。全体として「不足」超で、特に医療福祉、情報通信業、建設業等が大きく「不足」超となっている。

7-9 月期の従業員の見通し BSI は 38.0 で、「不足」超となっている。全体として「不足」超となっている中、特に情報通信業、旅行・宿泊業で大きく「不足」超となっている。

【臨時・パート】

4-6 月期の臨時・パートの BSI は-0.2 で若干「減少」超となっている。旅行・宿泊業、建設業などで「減少」超となっている。情報通信業、飲食サービス業、不動産業等で「増加」超となっている。

7-9 月期の臨時・パートの見通し BSI は 3.7 で、「増加」超となっている。情報通信業、飲食サービス業、建設業、飲食サービス業などで「増加」超となっている。医療・福祉では「減少」となっている。

3 調査概要および調査対象について

回収状況

調査の対象、調査方法、回収率等は以下のとおり。

項目	内 容
調査対象	県内に本社所在地がある 2000 企業に発送した。 ただし調査対象有効企業数は、宛先不明として返送されてきた 30 企業を除いた 1970 企業。
抽出方法	信用調査会社などから提供を受けた。その際、業種、地域については、経済センサス調査基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して抽出した。そのほか、各種公開情報等を参考にして発送先を選定した。
調査方法	郵送により調査票を配布・回収 ※一部インターネットによる回答・回収
調査期間	2022年6月1日に調査票を発送し、6月28日到着分までを集計

調査概要

弊社が取りまとめた、県内企業の各種 BSI (Business Survey Index)の算出方法は、以下のとおりである。

有効回収数:405 通(有効回答率:20.6%)

BSI = (「上昇」と回答した企業構成比) - (「下降」と回答した企業構成比)

なお、BSI は景気の現状や先行きを「上昇」・「下降」といった前期と変化した方向で判断する指標である。BSI がプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、BSI がマイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。

また、本調査は、比較的、小規模事業所までも網羅した調査となっている点が特徴である。

- ※ 本文中における、カッコ内()の数値は単位が特に記載されていない場合は、その業種、分野の BSI を示す。
- ※ 調査結果について、回答した割合を小数第二位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合がある。
- ※ 複数回答の場合は、構成比(パーセント計算)の和が 100.0 を超えるものがある。
- ※ 統計表において n はサンプル数を表す。



4 調査結果詳細

回答企業属性

回答企業総数は 405 社。構成比は以下の通りとなっている。

■ 業種別

項目	回答数	構成比
1		
1	(n=405)	(%)
農業、林業、漁業	2	0.5
建設業	72	17.8
製造業	38	9.4
情報通信業	21	5.2
卸売・小売業	75	18.5
不動産業	35	8.6
旅行·宿泊業	31	7.7
飲食サービス業	15	3.7
医療、福祉	21	5.2
その他のサービス業	95	23.5
その他	0	0.0
無回答	0	 0.0

■ 資本金別

項目	回答数 (n=405)	構成比 (%)
1000万円未満	108	26.7
1000~5000万円未満	191	47.2
5000~1億円未満		11.9
1億円以上	35	8.6
無回答	23	5.7

■ 従業員数別

項目	回答数	構成比 (%)
10人未満	(n=405)	(%)
10~19人	66	16.3
20~49人	106	26.2
50~99人	49	12.1
100人以上	64	15.8
無回答	8	2.0

■ 地域別

項目	回答数	構成比
	(n=405)	(%)
北部	38	9.4
中部	167	41.2
南部	64	15.8
那覇	105	25.9
離島	31	7.7
無回答	0	0.0

■ 売上先マーケット別

項目	回答数 (n=405)	構成比 (%)
県内売上50%以上	334	82.5
県外売上50%以上	69	17.0
海外売上20%以上	4	1.0

県内企業の景況判断 BSI

■ 現状と見通し

- 実績(2022年4-6月期)
 - 全体の景況判断 BSI (実績) は、9.9 で「上昇」超
- 見通し(2022年7-9月期)
 - 全体の景況判断 BSI (見通し) は、24.0 で「上昇」超

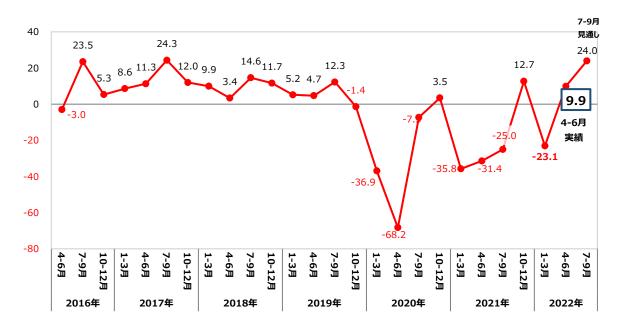
■ 主要業種別結果

- 実績(2022年4-6月期)
 - 「上昇」超は、旅行・宿泊業(58.1)、飲食サービス業(40.0)、その他のサービス業(20.0)、不動産業等(17.1)、製造業(5.3)、卸売・小売業(4.0)となっている。
 - 「下降」超は、建設業(-18.1)、医療・福祉(-14.3)となっている。
- 見通し(2022年7-9月期)
 - 全て「上昇」超となっており、旅行・宿泊業(54.8)、卸売・小売業(40.0)、飲食サービス業(33.3)、不動産業等(25.7)、情報通信業(23.8)、その他のサービス業(22.1)、医療・福祉(14.3)、建設業(5.6)、製造業(2.6)となっている。

■企業の景況判断BSI(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

	時期	時期 2021年		2022年				
			7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
全業	種BSI	-31.4	-25.0	12.7	-23.1	4.7	9.9	24.0
	建設業	-47.7	-28.8	-9.6	13.1	-21.3	-18.1	5.6
	製造業	-12.2	-22.7	11.8	-36.6	7.3	5.3	2.6
	情報通信業	-5.6	-15.8	4.8	0.0	-16.7	0.0	23.8
	卸売·小売業	-28.1	-37.0	11.7	-22.4	7.5	4.0	40.0
	不動産業等	-11.6	-6.7	-15.6	6.1	24.2	17.1	25.7
	旅行·宿泊業	-44.2	-25.0	44.1	-41.7	22.9	58.1	54.8
	飲食サービス業	-88.9	-41.2	57.9	-71.4	21.4	40.0	33.3
	医療•福祉	-18.8	-4.8	-4.3	-43.8	25.0	-14.3	14.3
	その他のサービス業	-26.8	-18.8	26.1	-36.0	-1.2	20.0	22.1
資	1000万円未満	-34.7	-26.5	19.2	-26.6	11.0	19.4	30.6
本	1000~5000万円未満	-33.6	-26.7	5.2	-17.5	-2.2	4.7	15.7
金	5000万~1億円未満	-28.6	-18.0	32.0	-33.3	12.5	6.3	39.6
別	1億円以上	-10.3	-26.7	16.7	-25.0	21.4	17.1	28.6
従.	10人未満	-35.1	-23.7	-1.0	-16.0	10.0	14.3	24.1
業	10~19人	-25.9	-28.9	4.7	-26.1	-1.4	0.0	22.7
員	20~49人	-43.8	-22.4	15.7	-25.5	-2.0	4.7	11.3
数	50~99人	-28.3	-33.3	16.1	-26.9	9.6	20.4	49.0
別。	100人以上	-16.4	-15.8	32.7	-29.1	7.3	20.3	31.3
	本島北部地区	-42.9	-28.2	0.0	-37.2	16.3	-2.6	26.3
地	本島中部地区	-21.5	-25.2	12.3	-20.4	4.9	5.4	19.2
域	本島南部地区	-24.2	-19.0	21.3	-16.4	-13.1	0.0	25.0
別	那覇地区	-41.7	-26.9	17.9	-19.4	2.8	19.0	19.0
	離島地区	-35.4	-25.6	0.0	-43.3	30.0	38.7	61.3

■ BSI 推移



■ 4-6 月期の現状(I-3 月比較)BSI 全体 実績

- ▶ 4-6 月期の景況 BSI は 9.9 で「上昇」超。売上高は「上昇」超だが、経常利益は「下降」超 となっている。
- ▶ 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「減少」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要は「上昇」超。海外需要は若干「下降」超となっている。



■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較)BSI 全体 見通し

- ▶ 7-9 月期の景況見通しは 24.0 で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- ▶ 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要も若干「上昇」超となっている。



- 4-6 月期の景況判断要因(I-3 月期との比較) 全体 景況判断要因
 - ▶ 4-6 月期の景況について「上昇」とした |4| 社における景況上昇の要因は、「県内需要の動向」(75.2%)が最も多く、次いで「県外需要の動向」(52.5%)が続いた。

4-6 月期景況の上昇要因

······································	,,	
項目	回答数	構成比
	(n=141)	(%)
県内需要(売上)の動向	106	75.2
県外需要(売上)の動向	74	52.5
海外需要(売上)の動向	6	4.3
販売価格の動向	18	12.8
仕入れ価格の動向	19	13.5
仕入れ以外のコストの動向	3	2.1
資金繰り・資金調達の動向	9	6.4
株式・不動産等の資産価格の動向	4	2.8
為替レートの動向	1	0.7
その他	6	4.3
無回答	1	0.7

▶ 「下降」とした IOI 社における景況下降の要因は、「県内需要の動向」(77.2%)が最も 多く、「仕入れ価格の動向」(49.5%)が続いた。

4-6 月期景況の下降要因

	γ
回答数	構成比
(n=101)	(%)
78	77.2
16	15.8
j{ 5	5.0
23	22.8
j} 50	49.5
15	14.9
j{ 5	5.0
] 2	2.0
7	6.9
년 { 10	9.9
0	0.0
	(n=101)

- 7-9 月期の景況見通し判断要因(4-6 月期との比較) 全体 景況見通し判断要因
 - ▶ 7-9 月期の見通しを「上昇」とした | 48 社における上昇要因は、「県内需要の動向」 (81.1%)が最も多く、次いで「県外需要の動向」(73.3%)が続いた。

7-9 月期景況の見通し:上昇要因

······		
項目	回答数	構成比
	(n=148)	(%)
県内需要(売上)の動向	120	81.1
県外需要(売上)の動向	74	73.3
海外需要(売上)の動向	13	12.9
販売価格の動向	28	27.7
仕入れ価格の動向	27	26.7
仕入れ以外のコストの動向	7	6.9
資金繰り・資金調達の動向	7	6.9
株式・不動産等の資産価格の動向	1	1.0
為替レートの動向	4	4.0
その他	4	4.0
無回答	0	0.0

▶ 「下降」とした 94 社における下降要因は、「県内需要の動向」が 76.5%で最も多く、「仕入れ価格の動向」、「県外需要の動向」、「販売価格の動向」、「仕入れ以外のコストの動向」が続いた。

7-9 月期景況の見通し:下降要因

項目	回答数 (n=51)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	39	76.5
県外需要(売上)の動向	16	31.4
海外需要(売上)の動向	4	7.8
販売価格の動向	13	25.5
仕入れ価格の動向	24	47.1
仕入れ以外のコストの動向	12	23.5
資金繰り・資金調達の動向	10	19.6
株式・不動産等の資産価格の動向	1	2.0
為替レートの動向	2	3.9
その他	2	3.9
無回答	0	0.0

【主要業種別 BSI】

- 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 主要業種別 実績
 - ▶ 全体では、9.9 で「上昇」超となっている。
 - ▶ 「上昇」超は、旅行・宿泊業(58.1)、飲食サービス業(40.0)、その他のサービス業(20.0)、不動産業等(17.1)、製造業(5.3)、卸売・小売業(4.0)となっている。
 - ▶ 「下降」超は、建設業(-18.1)、医療・福祉(-14.3)となっている。



- 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 主要業種別 見通し
 - ▶ 全体では 24.0 で「上昇」 超となっている。
 - ▶ 全ての業種で「上昇」超となっており、多い順に旅行・宿泊業(54.8)、卸売・小売業(40)、飲食サービス業(33.3)、不動産業等(25.7)、情報通信業(23.8)、その他のサービス業(22.1)、医療・福祉(14.3)、建設業(5.6)、製造業(2.6)となっている。



- 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 資本金別 実績
 - ▶ 4-6 月期の景況は、資本金規模に関わらず、全体として「上昇」超となっている。



- 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 資本金別 見通し
 - ▶ 7-9 月期の見通しは、資本金規模に関わらず、全体として「上昇」超となっている。



- 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 従業員数別 実績
 - ▶ 4-6 月期の景況は、「10~19 人」(0.0)を除き、全体として「上昇」超となっている。



- 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 従業員数別 見通し
 - ▶ 7-9 月期の見通しは、全体として「上昇」超となっている。
 - → 従業員規模が大きい企業で「上昇」超幅が大きくなっている。



- 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 地域別 実績
 - ▶ 4-6 月期の景況は、北部 (-2.6) を除く地域で「上昇」超となっている。



- 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 地域別 見通し
 - ▶ 7-9 月期の景況見通しは、全体として「上昇」超となっている。
 - ⇒ 特に離島の上昇幅が大きくなっている。



- 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 売上先マーケット別 実績
 - ▶ 4-6 月期の景況は、「海外売上 20%以上」(-25.0)を除く全てのカテゴリーで「下降」超となっている。

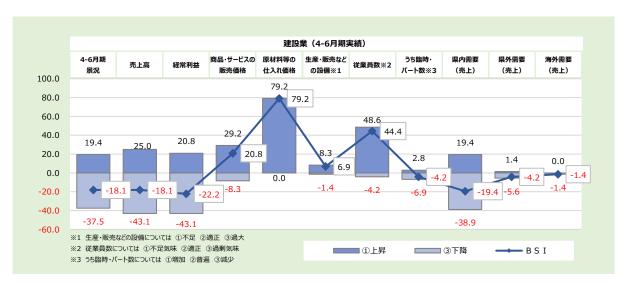


- 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 売上先マーケット別 見通し
 - ▶ 7-9 月期の景況見通しは、全体として「上昇」超となっている。



【主要業種別集計】

- 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 建設業 実績
 - ▶ 4-6 月期の景況は-18. | で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
 - ▶ 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
 - ▶ 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
 - ▶ 県内需要、県外需要、海外需要とも「下降」超となっている。



- **7-9** 月期の見通し(4-6 月比較) 建設業 見通し
 - ▶ 7-9 月期の景況見通しは 5.6 で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
 - ▶ 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
 - ▶ 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「減少」超となっている。
 - ▶ 県内需要は「上昇」超、県外需要は「下降」超、海外需要は 0.0 となっている。



■ 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 製造業 実績

- ▶ 4-6 月期の景況は-5.3 で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- ▶ 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は「過大」超、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- ▶ 県内需要、海外需要は「下降」超。県外需要は 0.0 となっている。



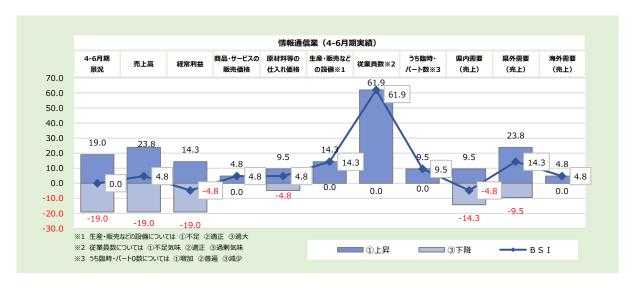
■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 製造業 見通し

- ▶ 7-9 月期の景況見通しは 2.6 で若干の「上昇」起。売上高、経常利益共に「上昇」起 となっている。
- ▶ 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は 0.0、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、海外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



■ 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 情報通信業 実績

- ▶ 4-6 月期の景況は 0.0。売上高は「上昇」超。経常利益は「下降」超となっている。
- ▶ 販売価格、仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要は「下降」超。県外需要、海外需要は共に「上昇」超となっている。



■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 情報通信業 見通し

- ▶ 7-9 月期の景況見通しは23.8で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- ▶ 販売価格、仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は「不足」超。従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



■ 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 卸売·小売業 実績

- ▶ 4-6 月期の景況は 4.0 で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- ▶ 販売価格、仕入れ価格共に大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備、従業員数は「不足」超、臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 卸売・小売業 見通し

- ▶ 7-9 月期の景況見通しは 40.0 で大きく「上昇」起。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- ▶ 販売価格、仕入れ価格共に大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要、海外需要共に「下降」超となっている。



■ 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 不動産業等 実績

- ▶ 4-6 月期の景況は 17.1 で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- ▶ 販売価格、仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は、従業員数は「不足」超、臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要は「上昇」超、海外需要は 0.0 となっている。



■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 不動産業等 見通し

- ▶ 7-9 月期の景況見通しは 25.7 で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- ▶ 販売価格は「上昇」超、仕入れ値は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



■ 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 旅行·宿泊業 実績

- ▶ 4-6 月期の景況は58.1 で大きく「上昇」超。売上高、経常利益共に大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要は大きく「上昇」超、海外需要は「下降」超となっている。



■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 旅行・宿泊業 見通し

- ▶ 7-9 月期の景況見通しは 54.8 で大きく「上昇」超。売上高、経常利益共に大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 販売価格、仕入れ価格共に大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要は大きく「上昇」超、海外需要は「下降」超となっている。



■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) 飲食サービス業 実績

- ▶ 4-6 月期の景況は 40.0 で大きく「上昇」超。売上高は大きく「上昇」超、経常利益は 0.0 となっている。
- ▶ 販売価格、仕入れ価格共に大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は 0.0、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 飲食サービス業 見通し

- ▶ 7-9 月期の景況見通しは33.3で大きく「上昇」起。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- ▶ 販売価格、仕入れ価格は共に大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要、海外需要は共に「上昇」超となっている。



■ 4-6 月期の現状(I-3 月比較) 医療·福祉 実績

- ▶ 4-6 月期の景況は-14.3 で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- ▶ 販売価格は「下降」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は「過大」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要は「下降」超、県外需要、海外需要は共に 0.0 となっている。



■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) 医療・福祉 見通し

- ▶ 7-9 月期の見通しは 14.3 で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- ▶ 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備は 0.0、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要は「上昇」超。海外需要は 0.0 となっている。



■ 4-6 月期の現状(I-3 月比較) その他のサービス業 実績

- ▶ 4-6 月期の景況は 20.0 で大きく「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」 超となっている。
- ▶ 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備、従業員数共に「不足」超、パート数は若干「減少」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) その他のサービス業 見通し

- ▶ 7-9 月期の景況見通しは 22.1 で「上昇」超。売上高、経常利益は共に「上昇」超となっている。
- ▶ 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- ▶ 設備、従業員数は「不足」超、臨時・パート数は「増加」超となっている。
- ▶ 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



【雇用関連集計】

- 4-6 月期の従業員数(1-3 月比較) 全体 従業員数実績
 - ▶ 4-6 月期の従業員 BSI は 34.3 で大きく「不足」 超となっている。
 - ▶ 全体として「不足」超で、特に医療福祉、情報通信業、建設業等が大きく「不足」超となっている。



- 7-9 月期の従業員数見通し(4-6 月比較) 全体 従業員数見通し
 - ▶ 7-9 月期の従業員の見通し BSI は 38.0 で大きく「不足」 超となっている。
 - 全体として「不足」超となっている中、特に情報通信業、旅行・宿泊業で大きく「不足」 超となっている。



- 4-6 月期の臨時・パート数(I-3 月比較) 全体 臨時・パート実績
 - ▶ 4-6 月期の臨時・パートの BSI は-0.2 で若干「減少」超となっている。
 - ▶ 旅行·宿泊業、建設業などで「減少」超となっている。
 - ▶ 情報通信業、飲食サービス業、不動産業等で「増加」超となっている。



- 7-9 月期の臨時・パート数見通し(4-6 月比較) 全体 臨時・パート見通し
 - ▶ 7-9 月期の臨時・パートの見通し BSI は 3.7 で、「増加」超となっている。
 - ▶ 情報通信業、飲食サービス業、建設業飲食サービス業等で「増加」超となっている。
 - ▶ 医療・福祉では「減少」となっている。



主要業種別·項目別 BSI 一覧表

■全体BSI

時期		2021年			202	2年	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-31.4	-25.0	12.7	-23.1	4.7	9.9	24.0
売上高	-28.0	-21.0	18.4	-21.0	5.7	9.1	30.9
経常利益	-34.5	-27.8	5.2	-30.1	-4.2	-5.4	17.0
商品・サービスの販売価格	-5.8	-2.0	8.5	8.8	14.8	21.5	30.9
原材料等の仕入れ価格	16.1	23.0	41.0	45.7	45.7	62.2	56.3
生産・販売などの設備	0.7	0.8	6.2	1.8	4.7	6.4	9.9
従業員数	6.5	11.8	28.6	23.6	26.8	34.3	38.0
うち臨時・パート	-1.8	-2.3	-1.5	-3.9	-0.5	-0.2	3.7
県内需要(売上)	-26.2	-20.3	20.9	-18.7	4.2	7.4	24.2
県外需要(売上)	-19.1	-12.0	10.9	-12.7	9.4	13.3	18.5
海外需要(売上)	-8.5	-7.3	-2.7	-5.2	-1.6	-0.2	3.0

■建設業BSI

■姓以来D31										
	時期		2021年			202	2年			
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期		
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)		
톶	況BSI	-47.7	-28.8	-9.6	13.1	-21.3	-18.1	5.6		
	売上高	-46.2	-13.6	5.5	13.1	-24.6	-18.1	18.1		
	経常利益	-50.8	-23.7	-8.2	-3.3	-36.1	-22.2	1.4		
	商品・サービスの販売価格	-10.8	-1.7	6.8	23.0	13.1	20.8	34.7		
	原材料等の仕入れ価格	29.2	37.3	46.6	57.4	57.4	79.2	72.2		
	生産・販売などの設備	4.6	5.1	11.0	13.1	13.1	6.9	5.6		
	従業員数	29.2	10.2	39.7	52.5	49.2	44.4	45.8		
	うち臨時・パート	0.0	-5.1	4.1	-1.6	-1.6	-4.2	-2.8		
	県内需要(売上)	-41.5	-16.9	1.4	4.9	-18.0	-19.4	6.9		
	県外需要(売上)	-9.2	-6.8	-6.8	3.3	3.3	-4.2	-2.8		
	海外需要(売上)	-3.1	-1.7	-1.4	0.0	0.0	-1.4	0.0		

■製造業BSI

■ 製造業的1										
	時期		2021年			202	2年			
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期		
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)		
툙	景況BSI	-12.2	-22.7	11.8	-36.6	7.3	5.3	2.6		
	売上高	-14.6	-22.7	23.5	-31.7	17.1	5.3	23.7		
	経常利益	-17.1	-34.1	14.7	-41.5	0.0	-13.2	7.9		
	商品・サービスの販売価格	-2.4	0.0	2.9	9.8	26.8	26.3	36.8		
	原材料等の仕入れ価格	29.3	36.4	55.9	63.4	68.3	97.4	76.3		
	生産・販売などの設備	0.0	-4.5	0.0	4.9	4.9	-5.3	0.0		
	従業員数	-2.4	0.0	8.8	9.8	4.9	18.4	18.4		
	うち臨時・パート	-9.8	2.3	0.0	-4.9	2.4	-2.6	7.9		
	県内需要(売上)	-17.1	-22.7	11.8	-39.0	14.6	-5.3	15.8		
	県外需要(売上)	-7.3	-6.8	35.3	-19.5	24.4	0.0	26.3		
	海外需要(売上)	-4.9	2.3	2.9	-7.3	2.4	-7.9	2.6		

■情報通信業BSI

■ 旧秋返山未201									
	時期		2021年			202	2年		
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期	
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)	
景	況BSI	-5.6	-15.8	4.8	0.0	-16.7	0.0	23.8	
	売上高	-11.1	-10.5	9.5	0.0	-5.6	4.8	42.9	
;	経常利益	-16.7	-15.8	-9.5	5.6	0.0	-4.8	28.6	
[i	商品・サービスの販売価格	5.6	-5.3	4.8	5.6	5.6	4.8	19.0	
	原材料等の仕入れ価格	11.1	0.0	4.8	11.1	16.7	4.8	9.5	
	生産・販売などの設備	5.6	0.0	14.3	5.6	11.1	14.3	19.0	
	従業員数	33.3	21.1	28.6	38.9	33.3	61.9	66.7	
	うち臨時・パート	-5.6	5.3	4.8	0.0	-5.6	9.5	14.3	
	県内需要(売上)	0.0	5.3	9.5	-11.1	-5.6	-4.8	33.3	
]	県外需要(売上)	-16.7	10.5	14.3	16.7	0.0	14.3	33.3	
j	海外需要(売上)	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	4.8	4.8	

■卸売・小売業BSI

■邱允内仍未031									
	時期		2021年			202	2年		
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期	
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)	
툙	況BSI	-28.1	-37.0	11.7	-22.4	7.5	4.0	40.0	
	売上高	-23.6	-34.6	10.4	-20.9	1.5	9.3	36.0	
	経常利益	-27.0	-32.1	3.9	-38.8	-7.5	-8.0	24.0	
	商品・サービスの販売価格	6.7	9.9	27.3	31.3	35.8	50.7	52.0	
	原材料等の仕入れ価格	23.6	34.6	50.6	65.7	62.7	72.0	68.0	
	生産・販売などの設備	3.4	4.9	9.1	4.5	4.5	6.7	9.3	
	従業員数	5.6	16.0	22.1	25.4	25.4	32.0	34.7	
	うち臨時・パート	2.2	-2.5	1.3	-7.5	0.0	1.3	1.3	
	県内需要(売上)	-22.5	-35.8	20.8	-11.9	-6.0	1.3	28.0	
	県外需要(売上)	-13.5	-8.6	11.7	-14.9	-1.5	20.0	18.7	
	海外需要(売上)	-7.9	-4.9	-1.3	-6.0	-1.5	1.3	4.0	

■不動産業等BSI

■小割性業等BSI										
	時期		2021年			202	22年			
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期		
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)		
툙	況BSI	-11.6	-6.7	-15.6	6.1	24.2	17.1	25.7		
	売上高	-14.0	3.3	-9.4	-6.1	21.2	8.6	31.4		
	経常利益	-18.6	-6.7	-31.3	-6.1	15.2	-2.9	22.9		
	商品・サービスの販売価格	-4.7	-3.3	0.0	9.1	6.1	14.3	17.1		
	原材料等の仕入れ価格	4.7	16.7	12.5	15.2	12.1	25.7	37.1		
	生産・販売などの設備	2.3	-3.3	0.0	0.0	0.0	5.7	8.6		
	従業員数	14.0	16.7	6.3	12.1	18.2	20.0	25.7		
	うち臨時・パート	0.0	-6.7	0.0	3.0	0.0	5.7	2.9		
	県内需要(売上)	-11.6	-3.3	-6.3	-6.1	27.3	8.6	28.6		
	県外需要(売上)	-14.0	-3.3	12.5	3.0	12.1	14.3	22.9		
	海外需要(売上)	2.3	-3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9		

■旅行·宿泊業BSI

時期		2021年			202	22年	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-44.2	-25.0	44.1	-41.7	22.9	58.1	54.8
売上高	-30.8	-27.5	41.2	-41.7	20.8	58.1	54.8
経常利益	-48.1	-42.5	35.3	-41.7	12.5	41.9	45.2
商品・サービスの販売価格	-32.7	-20.0	0.0	-22.9	6.3	9.7	38.7
原材料等の仕入れ価格	1.9	7.5	32.4	37.5	33.3	67.7	58.1
生産・販売などの設備	-13.5	-5.0	5.9	-12.5	-4.2	19.4	32.3
従業員数	-32.7	-15.0	32.4	12.5	33.3	41.9	54.8
うち臨時・パート	-9.6	-12.5	-17.6	-10.4	2.1	-6.5	9.7
県内需要(売上)	-32.7	-27.5	70.6	-33.3	12.5	51.6	32.3
県外需要(売上)	-40.4	-37.5	23.5	-41.7	20.8	51.6	48.4
海外需要(売上)	-26.9	-20.0	-5.9	-12.5	-8.3	-9.7	-6.5

■飲食サービス業BSI

時期		2021年			202	2年	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-88.9	-41.2	57.9	-71.4	21.4	40.0	33.3
売上高	-100.0	-52.9	47.4	-57.1	21.4	46.7	33.3
経常利益	-100.0	-64.7	15.8	-71.4	-7.1	0.0	20.0
商品・サービスの販売価格	0.0	-11.8	-5.3	-7.1	28.6	40.0	60.0
原材料等の仕入れ価格	16.7	5.9	84.2	42.9	57.1	93.3	86.7
生産・販売などの設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
従業員数	-16.7	-17.6	47.4	14.3	28.6	33.3	33.3
うち臨時・パート	-16.7	-5.9	-26.3	-42.9	-21.4	6.7	13.3
県内需要(売上)	-83.3	-52.9	47.4	-57.1	21.4	60.0	60.0
県外需要(売上)	-72.2	-47.1	21.1	-42.9	21.4	53.3	53.3
海外需要(売上)	-44.4	-52.9	-31.6	-35.7	-7.1	20.0	33.3

■ 医療・福祉BSI

■ 区/塚 * 佃位DJI										
	時期		2021年			202	2年			
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期		
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)		
景》	兄BSI	-18.8	-4.8	-4.3	-43.8	25.0	-14.3	14.3		
5	売上高	-12.5	4.8	8.7	-43.8	18.8	-19.0	9.5		
肴	怪常利益	-43.8	-14.3	0.0	-50.0	6.3	-23.8	-4.8		
ř	商品・サービスの販売価格	-6.3	0.0	4.3	0.0	0.0	-4.8	9.5		
Į.	原材料等の仕入れ価格	18.8	9.5	26.1	37.5	50.0	38.1	47.6		
2	生産・販売などの設備	6.3	4.8	0.0	0.0	6.3	-4.8	0.0		
í	芷業員数	6.3	33.3	43.5	25.0	25.0	61.9	47.6		
-	うち臨時・パート	12.5	-14.3	17.4	18.8	6.3	4.8	-9.5		
Ĵ.	県内需要(売上)	-12.5	-4.8	0.0	-37.5	6.3	-4.8	9.5		
إ	県外需要(売上)	0.0	-4.8	-8.7	-6.3	0.0	0.0	4.8		
ì	毎外需要(売上)	0.0	-4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

■その他のサービス業BSI

■ その他のサービス乗BSI										
	時期		2021年			202	2年			
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期		
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)		
툙	況BSI	-26.8	-18.8	26.1	-36.0	-1.2	20.0	22.1		
	売上高	-20.6	-15.6	33.0	-27.9	7.0	15.8	31.6		
	経常利益	-24.7	-15.6	17.0	-36.0	-1.2	-2.1	15.8		
	商品・サービスの販売価格	-4.1	0.0	6.8	3.5	4.7	10.5	14.7		
	原材料等の仕入れ価格	6.2	14.1	38.6	38.4	36.0	52.6	40.0		
	生産・販売などの設備	1.0	-1.6	5.7	-1.2	4.7	8.4	10.5		
	従業員数	12.4	23.4	30.7	16.3	19.8	26.3	33.7		
	うち臨時・パート	2.1	7.8	-4.5	-1.2	-1.2	-2.1	6.3		
	県内需要(売上)	-18.6	-6.3	33.0	-18.6	7.0	18.9	27.4		
	県外需要(売上)	-18.6	-9.4	12.5	-10.5	8.1	9.5	13.7		
	海外需要(売上)	-6.2	-6.3	-2.3	-2.3	-2.3	1.1	3.2		

―― 本資料のご利用に際して ――

- ・ 本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。著作権法の定めに従い、引用する際には、必ず出所・株式会社海邦総研と明記してください。
- ・ 本資料は、弊社 HP(http://www.kaiho-ri.jp/)においても公表しております。
- ・ 本調査に関する問い合わせは、弊社・地域経済調査部・瀬川、当銘までご連絡ください。

TEL:098-869-8724 E-mail:sonshu_segawa@kaiho-ri.jp